



# 66 新潟県立高田高等学校

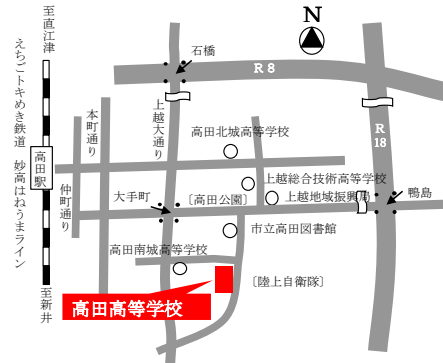
スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 指定校

- 所在地 上越市南城町3丁目5番5号  
〔最寄りの交通機関〕  
えちごトキめき鉄道  
妙高はねうまライン 高田駅下車  
高田駅より徒歩25分

- 電話 025-526-2325
- FAX 025-523-0825
- URL <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>
- Mail [school@takada-h.nein.ed.jp](mailto:school@takada-h.nein.ed.jp)
- 校長名 小野島 恵次
- 課程 全日制
- 創立 明治7年(1874年)
- 生徒数 793名

(平成30年5月1日現在)

- 入学者選抜(平成31年3月実施予定)



| 学年<br>学科 | 1年  |     | 2年  |     | 3年  |     | 計   |     |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|          | 男   | 女   | 男   | 女   | 男   | 女   | 男   | 女   |
| 普通科      | 85  | 115 | 104 | 134 | 103 | 135 | 292 | 384 |
| 理数科      | 27  | 13  | 25  | 14  | 22  | 16  | 74  | 43  |
| 計        | 112 | 128 | 129 | 148 | 125 | 151 | 366 | 427 |

| 学科 | 募集<br>定員 | 特色化選抜 | 一般選抜              |                 |                           |
|----|----------|-------|-------------------|-----------------|---------------------------|
|    |          |       | 調査書：学力検査<br>(3：7) | 傾斜配点<br>(数学・理科) | 学校独自検査・配点<br>(筆答検査A・100点) |
| 普通 | 200      |       | 調査書：学力検査<br>(3：7) | 傾斜配点<br>(数学・理科) | 学校独自検査・配点<br>(筆答検査A・100点) |
| 理数 | 40       |       | 調査書：学力検査<br>(3：7) | 傾斜配点<br>(数学・理科) | 学校独自検査・配点<br>(筆答検査A・100点) |

※ 平成31年度募集学級数及び募集定員確定後、ホームページを更新します(11月上旬予定)

## 学校目標

高田高等学校は、明治7年の創立以来、上杉謙信公の「第一義」ということばを校是に掲げています。第一義とは、「究極の真理、最も大切なもの」を意味し、常に自分の人生において最も大切なものは何かを考え、力強く生きる生き方を多くの卒業生が求め続けてきました。生徒たちには自主自律の校風の中で、個性や長所をいかにして伸ばすかを考えながら、自ら課題を見つけ、持てる力を思い切り発揮してほしいと願っています。校歌にも謳われているように、「百折不撓」の気力ある生徒の入学を大いに期待しています。



体育館正面に掲げられた「第一義」

## 目指す学校像のコンセプト

### <オンリーワンスクールコンセプト>

#### 高高 未来 Clue(ミラクル) Plan

～自らの「第一義」への鍵を探して、未来へのモチベーションを高めよう！～

本校独自のキャリア教育プログラム「高高 未来 Clue(ミラクル) Plan」とSSH指定校としての高度な理数教育を実践する。そのために次の5点を柱として推進する。

- ① 生徒の人間力の育成と進路希望達成のための効果的なキャリア教育のプログラムを推進する。
- ② 主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を育成する。
- ③ 生徒自らの可能性を高め、社会で活躍する意欲を培い、人生を切り拓き挑戦する気概を育む。
- ④ 高い倫理観と課題解決能力を備え、深い探究心を持つ国際社会で活躍できる人材を育成する。
- ⑤ SSH校として、日本や世界の科学技術の未来を支える人材の育成を目指す。

## SSH スーパーサイエンスハイスクール

高田高校は文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、日本の科学技術の未来を支える人材の育成に取り組み、その成果が評価され今年度からさらに5年間の指定を受けました。SSHは、独自のカリキュラムによる授業や、大学・研究機関などとの連携、地域の特徴ある研究などに取り組み、科学技術系人材を育成するための事業です。

本校ではこの科学技術系人材の育成を、理数系に特化した教育と考えるのではなく、科学的な視点を持ち、広く社会に貢献できる人材の育成と捉え、全校生徒を対象に取り組んでいます。そして様々な体験的な学習、発表の機会をとおして、希望する進路を叶えるための「思考力・判断力・表現力」を獲得することを目指します。

### 2つの事業の柱

#### (1) 探究型の学習の推進

##### ①理数科「MC課題研究」（理数科生徒を対象）

1年次には、研究活動に必要な知識や技能を身に付けるため、理科基礎実験、課題研究に向けた講義と実験、大学等での先端実験講座に参加します。また、上級生の研究を参考にしたり、他の先行研究を調べながら、自分の研究のテーマを考えます。2年次には研究課題に対して仮説を立て、実験を行い、それを考察しまとめます。3年次には、研究内容を校内外で発表し、その後研究をさらに深めて論文にまとめます。

##### ②全生徒対象「MC探究」（全校生徒を対象）

論理的思考力の育成、プレゼンテーションスキルの獲得、問題発見や課題解決能力の向上を目指します。1年次にはプレゼミ活動として地域の課題を用いた探究型の学習を行います。2年次には、日本の大手企業からもらったミッションに対し、グループごとに解決策を考えます。秋には実際に企業を訪問し、解決策のプレゼンテーションをします（東京研修）。その後、校内でも発表会を行い、最後に研究を論文にまとめます。生徒たちは答えのない問いに挑む中で、問題発見や課題解決、プレゼンテーションスキルなど様々なスキルを獲得していきます。

##### ③授業改善に係る取り組み

教科の学習内容を発展させて、探究型の学習を取り入れます。学習の到達目標を段階的に示し、学ぶ意欲を高めます。授業内の学習において生徒の主体性が高まる工夫を行います。また、

複数教科を融合して、上越の科学を深く学ぶ「上越サイエンススタディー」を実施します。上越教育大学と連携し、主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業改善に取り組みます。

## (2) 科学を用いた国際的な交流の拡大

### ①海外高校生との科学交流

希望する生徒がベトナム社会主義共和国やニュージーランドを訪問し、現地の高校生と科学を用いた交流を行います。共通の科学テーマに基づいて研究を行い、科学的な学習に関するプレゼンテーションを行います。プレゼンテーションの後にはディスカッションを行い、提言をまとめます。事前事後学習として、テーマに基づいた研究を行うとともに、インターネットを用いて交流を行います。

### ②英語プレゼンテーション力を高める学習

グループごとに英語でプレゼンテーション資料を作り、県内留学生などと交流会を行います。きちんと伝わる英語力を意識し、その後の英語授業にも意欲的に参加するようになります。

### ③地域の科学から世界へ（上越サイエンススタディから国際シンポジウムへ）

発酵国際シンポジウム：上越に関係の深い「発酵」について体験的に学習し、郷土の科学技術について研究を行います。その成果を「発酵国際シンポジウム」として世界の各地からの参加者とともに発表します。

## 学 校 生 活

### (1) 授業

授業は1時限単位を55分（LHRは50分）とし、3学期制で、1日6時限を実施し、理数科は火曜日に7時限を実施しています。金曜日は7限にLHRなどを実施します。

- ① **普通科**では、1年次に芸術を除いて共通の科目を履修します。2、3年次には自分の進路希望に応じて多様な科目選択ができるようになっています。
- ② **理数科**では、数学と理科の学習内容が普通科より多く、それらをさらに学ぶ必要から、授業時数が普通科に比べてやや多くなっています。2年生から2コースに分かれ、サイエンスコースはこれからの科学技術を担う人材の育成を、メディカルコースは医学部医学科に進学し、将来は医師として活躍できる人材の育成を目指しています。

| ＜ 校 時 ＞ |             |
|---------|-------------|
| 始 業     | 8:30～       |
| S HR    | 8:40～ 8:45  |
| 1 限     | 8:55～ 9:50  |
| 2 限     | 10:00～10:55 |
| 3 限     | 11:05～12:00 |
| 4 限     | 12:45～13:40 |
| 5 限     | 13:50～14:45 |
| 6 限     | 14:55～15:50 |
| 放課後     | 補習、部活動      |

また、文科省事業のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定されており、「MC課題研究」など、本校独自の科目が用意されています。

## (2) 部・同好会活動

多くの生徒が所属して活発に活動しています。運動部では野球・水泳・卓球・バドミントン・バスケットボール・バレーボール・テニス・陸上競技・剣道、また、文化部では管弦楽・合唱・将棋・百人一首かるた等の各部が活発に活動し、実績を上げています。

なお、部活動などに所属し、卒業までに優秀な成績を収めて本校の名誉を高めた生徒には、東京六華会（卒業後、東京で活躍するOB、OGによる学校支援組織）から記念メダルが贈呈されます。

| 部          | 同好会     |
|------------|---------|
| 陸上競技       | S F 研究  |
| 体操         | 軽音楽     |
| 水泳         | クッキング   |
| バレーボール     | 生物      |
| バスケットボール   | 囲碁      |
| テニス        | 数学クラブ   |
| ソフトテニス     | 英語      |
| 卓球         | ロボット    |
| バドミントン     | 化学      |
| 野球         |         |
| 柔道・空手道・合気道 |         |
| 剣道         |         |
|            | サッカー    |
|            | ラグビー    |
|            | 登山      |
|            | 地学      |
|            | 管弦楽     |
|            | 合唱      |
|            | 美術      |
|            | 書道      |
|            | 百人一首かるた |
|            | 演劇      |
|            | 将棋      |
|            | 弓道      |



創部 120 年の伝統。全国で 100 年を超える歴史を持つ野球部は数える程しかない。



生徒の自主運営を伝統とする管弦楽部。本番のステージも生徒がタクトを振る。

## (3) 学校行事

高高祭（文化祭）や全校登山、球技大会など、多彩かつ活発に行われています。高高祭や球技大会の中心的役割を果たす生徒会の活動も積極的で、選挙で生徒会長を選出し、副会長以下の役員を会長が決めることになっています。任期は 1 年です。

<全校登山>



<高高祭：クラス演劇>



<主な学校行事>

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 4 月  | 入学式                           |
| 5 月  | 創立記念式典・講演会                    |
| 6 月  | 高高祭                           |
| 8 月  | 全校登山                          |
| 10 月 | 遠足、マラソン大会<br>東京研修・ベトナム研修（2 年） |
| 1 月  | スキー授業（1 年）                    |
| 3 月  | 卒業式                           |

また、毎年夏に行われる全校登山（2泊3日）は、大正6年の旧制高田中学校時代から行われている伝統行事です。妙高・立山・苗場など6コースの中から好きなコースを選んで登ります。

10月に実施する東京研修では、日本を代表する企業等を訪問します。企業訪問では、事前に職業研究を深め、ゼミ活動のプレゼンを実施します。また希望者はSSH事業の一環としてベトナム研修に参加できます。現地の高校生との交流や現地の日本

企業を訪問し研修を深めます。

#### (4) 進学に向けて

普通科、理数科ともにほぼ全員が大学進学を希望しています。本校では、進路指導部を中心に各自の目標が達成できるように進路学習や学力向上対策を1，2年生から体系的に行っています。こうした結果、多くの生徒が目指す大学への進学を果たしています。

- ・ 補習 1・2年は夏期特編、3年は夏季休業中と6月からの平日放課後。各学年とも教科で随時実施。
- ・ 土曜講座 年間7～8回実施。
- ・ 大学訪問 2年生：東京方面へ企業・大学訪問（10月）
- ・ 模擬試験 校内実力テスト（1・2年とも3回） 校外模試（1年6回，2年8回，3年多数）
- ・ 東京研修 企業にて課題発表プレゼンテーション，大学ゼミ体験
- ・ 講演会等 進路ガイダンス（各学年2回）  
OBや社会人による講演会  
予備校等講師による講演会（1・2年2回、3年1回）  
進路意識啓発講演会（1年）、進路分野別ガイダンス（2、3年）  
保護者対象講演会（各学年2回）
- ・ 大学訪問 東京研修
- ・ 医師体験事業 上越総合病院、県立中央病院
- ・ 新潟大学医学部医学科体験講座
- ・ メディカル講演会

#### (5) その他

- ・ スクールカウンセラーや臨床心理士が定期的に来校し、生徒や保護者の相談に応じています。
- ・ 普通教室全室にエアコンが設置され、夏場でも快適な環境の中で学習ができます。

## 進路状況

平成30年3月卒業生の進路先

| 進路<br>学科 | 国公立<br>大学 | 私立<br>大学 | 短期<br>大学 | 各種専<br>門学校 | 就職 | 文科省<br>管轄外 | 進学<br>準備等 | 合計  |
|----------|-----------|----------|----------|------------|----|------------|-----------|-----|
| 普通科      | 100       | 96       | 4        | 4          | 1  | 0          | 30        | 235 |
| 理数科      | 24        | 5        | 0        | 0          | 0  | 0          | 11        | 40  |
| 計        | 124       | 101      | 4        | 4          | 1  | 0          | 41        | 275 |

主な大学の合格者数（平成30年春 現役のみ）

〔国公立大〕

|      |   |
|------|---|
| 北海道  | 1 |
| 東北   | 3 |
| 秋田   | 3 |
| 山形   | 4 |
| 福島   | 3 |
| 筑波   | 2 |
| 宇都宮  | 1 |
| 群馬   | 2 |
| 埼玉   | 3 |
| 千葉   | 3 |
| 東京海洋 | 1 |
| 東京学芸 | 1 |

|      |    |
|------|----|
| 東京芸術 | 1  |
| 東京農工 | 1  |
| 一橋   | 1  |
| 横浜国立 | 1  |
| 新潟   | 32 |
| 上越教育 | 8  |
| 富山   | 9  |
| 金沢   | 8  |
| 福井   | 3  |
| 山梨   | 3  |
| 信州   | 7  |
| 静岡   | 4  |

|            |     |
|------------|-----|
| 名古屋        | 1   |
| 京都         | 2   |
| 大阪         | 2   |
| 奈良教育       | 1   |
| 都留文科       | 2   |
| 首都大学東京     | 3   |
| 横浜市立       | 2   |
| 新潟県立看護     | 6   |
| 新潟県立       | 6   |
| 長岡造形       | 0   |
| 金沢美工       | 1   |
| 医学科        | 4   |
| 国公立大<br>総数 | 141 |

〔私立大〕

|      |    |
|------|----|
| 慶応義塾 | 3  |
| 国際基督 | 1  |
| 國學院  | 3  |
| 駒澤   | 7  |
| 芝浦工業 | 5  |
| 上智   | 2  |
| 専修   | 12 |
| 中央   | 14 |
| 成蹊   | 1  |
| 成城   | 4  |
| 東京女子 | 2  |
| 東京電機 | 4  |

|           |     |
|-----------|-----|
| 東京農業      | 1   |
| 東京理科      | 4   |
| 東洋        | 13  |
| 日本        | 12  |
| 日本女子      | 1   |
| 法政        | 6   |
| 明治        | 2   |
| 明治学院      | 3   |
| 立教        | 1   |
| 早稲田       | 6   |
| 同志社       | 2   |
| 立命館       | 9   |
| 私立大<br>総数 | 322 |

## 在校生からのメッセージ

3年 中川 航

高高生（高田高校生）の軸にあるのは「第一義」という校是です。私たちはこの校是を胸に学校生活を送っています。

高田高校は全国でも珍しい校則の無い学校です。しかし、生徒は文武両道、自主自律の精神を尊び、勉強にも部活動にも、さらに学校行事にも全力で取り組んでいます。

また、先生と生徒の距離が近いので、学習方法や進路選択などの相談にも手厚くサポートしていただけます。OB・OGの方々の講演会では、自分達の知らないことや、新しい世界観を学ぶことができます。



## 学校納付金

学校納付金には、次のようなものがあります。

- (1) 入学料 5,650 円 (入学時)
- (2) 授業料 118,800 円 (年額)

※平成 26 年度入学生から、所得制限により就学支援金が支給されない世帯(市町村民税所得割額の保護者(親権者)の合算が 304,200 円以上の世帯)については、上記の授業料を納めていただきます。なお、就学支援金支給の手続等については、別途お知らせいたします。

- (3) 学年費 93,000 円 (年額 教材・模試費、進路指導費、登山費他)
- (4) その他 47,800 円 (年額 生徒会費、保護者会費、後援会費、スキー授業積立他)

※入学時には別途、教科書、副教材費として約 35,000 円、体操着、内履きシューズ等の費用として約 20,000 円が必要となります。

※上記は平成 30 年度 1 年生のものであります。